

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2022年(令和4年)12月1日 会報 第126号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo,Street 608, Toul kok,
Phnompenh,Cambodia
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)



鉄や金属など廃品を集め、カンボジアの小学校に井戸寄贈

この程カンボジアの小学校に、大型手押しポンプ式井戸2基が完成した。完成したのは、「田之筋地域づくり協議会」及び「田之筋小学校」(愛媛県西予市)の皆さんが寄贈してくれた「オタフオン小学校」(コンボンスプー県ボーセト郡、生徒数=158人)と「トゥールクルース小学校」(コンボンスプー県ボーセト郡、生徒数=381人)の二つの小学校。

9月10日、現地スタッフが二つの小学校を訪問、井戸の完成を見届け性能点検した上で贈呈式を行い、完成を祝った。

井戸の深さは平均して約40メートル、ヒ素などの水質検査を実施しているため、生徒や村民には安心・安全な井戸水を提供している。

井戸を寄贈した「田之筋地域づくり協議会」は、里親会員の広瀬稔さん(愛知県西予市在住)が中心メンバーの一人。地域で鉄くずや金属類を車で収集し、それを業者に売って井戸建設資金を集めてくれた。現地での物価高騰や円安により、井戸建設代金が値上がりしているにも関わらず、すでに12月にも井戸を1基寄贈することが決まっている。そのひたむきな努力と熱意に脱帽。



立派な井戸が完成



廃品回収で井戸建設

「札幌ポブラライオンズクラブ」がカンボジアに小学校建設



「札幌ポブラライオンズクラブ」の皆さんと

「札幌ポブラライオンズクラブ」(事務局=札幌市中央区・石黒義久会長)の創立60周年記念事業として、カンボジアの小学校に校舎を寄贈してくれることが決まった。

9月22日、根岸理事長が同クラブの例会に出席、正式に契約書を取り交わした。

同例会の中で根岸理事長が講演、パワーポイントで現地の様子を写真説明した。

校舎を寄贈するのは「トロペアントレアン小学校」(カンボジア王国・クラチェ県・チェットボレイ郡・トロペアントレアン村)。生徒数は326人で、教師は校長以下7人。校舎はレンガ造りの3教室で、直ぐに授業ができるよう生徒が座る椅子、黒板なども設置される。寄贈者のネームプレートも付く。

クラチェ県は、カンボジアの首都プノンペンから車で北に5時間以上もかかるへき地にあり、NGOなどの支援が届きにくい場所。この小学校には木造校舎が1棟あるのみで、大雨が降れば授業が出来なくなるほど、老朽化が目立つ。

工事は10月から始まり、来年3月に完成する見込み。完成式には、日本から同クラブのメンバーが多数出席の予定。



例会で講演する根岸理事長

ポル・ポト政権元幹部を裁く特別法廷の役割終える

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長

根岸恒次

1970年代に国民の虐殺や強制移住を行った、ポル・ポト政権元幹部の罪を裁く特別法廷の最後の判決が言い渡され、法廷設置から16年かけてその役割を終えました。

元幹部で起訴されたのは5人、そのうち4人は既に死亡しており、唯一の生き残り、キュー・サムファン被告(91・元国家幹部会議長)に9月22日、終身刑が言い渡されました。カンボジアには死刑制度はありませんので最高刑になります。91才という高齢ですので、恐らく医療刑務所のような所で生涯を終えることになるのでしょう。

6月にカンボジアを訪問した時、旅行会社社長。ハンニャ君の紹介で、彼の叔父に当たるジェン・マスさん(62才)に会いました。ポル・ポト軍の元少年兵でした。

ジェン・マスさんに会うまで、私はポル・ポトの軍隊は志願兵だと錯覚していましたが、聞くと

徴兵制だったそうです。最初は18才以上の男子を対象にしておりましたが、戦況悪化とともに15才、13才と徴兵年齢が下がっていったそうです。かつての日本もそうでした。

軍隊にいた時は、タケオ↓カンポット↓シエムリアップ↓バタンボン↓ポルサットと国内で移動、カンボジア人同士の戦争に加えベトナムやタイの軍隊とも戦い、見せてくれた身体は傷だらけでした。

住民の虐殺に加担したのか尋ねましたが、口をつぐんだままでした。思い出したくなかったのでしょうか。



ジェン・マスさんと

ポル・ポト政権崩壊後はポーサットに留まり、結婚して7人の子宝に恵まれ、今はお寺の仕事をしているそうです。ジェン・マスさんは「二度と戦争をしたくない。平和が一番だ」と実感を含めて話しを締めくくりました。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば77年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さんありがとう

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。(活動のための諸費用含む)

- 子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- 一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。

(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)
また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツィ・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854
FAX 03・3557・1213

夢ホーム卒園生はいま

スレイコーンちゃん(25歳・女性)
本会が2009年、カンボジア・コンボンスプー県に開設した児童養護施設「夢ホーム」は諸事情により2020年に閉園したが、この間30人以上の子どもたちが卒園し、社会に巣立っていった。

卒園した子どもたちの多くは立派に成長し、社会で活躍している。

2009年の夢ホーム開設後、小学校3年生の時に家の事情で同県内から入園したスレイコーンちゃん、両親はいなかった。

2018年に高校を卒業すると同時に卒園、その後会計学を学ぶため大学に入学したがコロナ禍で中退、今はプノンペン市内の宝くじ会社で働いている。



スレイコーンちゃん



チャウ・ウサー君
(男の子)
●両親離婚し母親のみ。兄がいる。現在母親、兄と暮らす。
●好きなこと=サッカーをすること。
●学校まで徒歩で10分。



アムプレピン小学校
(コンボンスプー県)
3年生 (9歳)

タン・タイヴィット君
(男の子)
●両親離婚し母親のみ。妹がいる。現在母親、妹と暮らす。
●好きなこと=サッカーをすること。
●学校まで徒歩で10分。



アムプレピン小学校
(コンボンスプー県)
2年生 (7歳)

リート・マカラ君
(男の子)
●家族構成=両親がいる。兄弟なし。現在両親と暮らす。
●好きなこと=サッカーをすること。
●学校まで徒歩で30分。



チュレイホープナヴ小学校
(コンボンスプー県)
3年生 (11歳)

ジユム・ソワンチャン
セレイポット君(男の子)
●家族構成=両親離婚。兄弟なし。現在祖父、祖母と暮らす。
●好きなこと=サッカーをすること。
●学校まで徒歩で20分。



アムプレピン小学校
(コンボンスプー県)
3年生 (9歳)

ポル・サムバットちゃん
(女の子)
●両親離婚。姉、妹がいる。現在祖母、姉、妹と暮らす。
●好きなこと=本を読むこと。
●学校まで徒歩で35分。



チュレイホープナヴ小学校
(コンボンスプー県)
2年生 (8歳)

投稿 サップ川対岸に見る新市街地

副理事長 及川 英博 (岩手県奥州市在住)

プノンペン特別区は、現在の人口は推定百四十万人を超えて、超過密都市となって交通渋滞が日常化している。



整備された公園

渋滞解消のために高架式道路の建設や高速道路の建設等を進めているが、街の肥大化は進む一方である。要因は、仕事を求めて農村部からの流入、海外資本の投資による中国人の流入が考えられる。

プノンペン市は中国語の看板やネオンが光り輝き、まさにチャイナタウンの様相を呈する街となっている。

高層ビルが次々と建設されている。これらはすべて外国資本によるもので、開発ラッシュは止むことをしらない。

一方で、屋台形式で無店舗販売をするパン

屋、果物屋、コーヒー屋、食堂、衣料品屋、日用品屋、修理屋、肉屋、鮮魚屋、お惣菜屋、理髪店など、昔ながらの光景が展開されている。その主役は、殆どがカンボジア人である。

その一方で、店舗を構えて営業しているのは、中華系の人々が多いように見える。旧市街地の周辺にも開発の手が入り、衛星都市のような新興モール街が、次々と形成されている。

先日、隣の田舎町「タマウ」に出かけたが、プノンペンとの境界はなくなり、完全に一体化した街になっていたのには驚いた。

プノンペンの東側を流れるサップ川の対岸は、高層ホテルが島の先端に一棟だけ建っている中島と思っていたが、「トライマカーン地区」に行ってみて、私の予想を完全に覆した。

新しい街並みがきれいに整備され、広規格の道路の両側には新しい商店街や官庁街や学園街、公園が形成されて、新興プノンペン市街を見る思いがした。

外国資本による開発はサップ川を挟んで、旧市街地と新市街地が形成されていた。

サッカー大会に里子支援校が参加

8月30日、日本の学生団体「ワールドフット」が主催する第5回「サッカー大会」がプノンペン市内の「インペリアル・スポーツクラブ」で行われ、教育里子支援校の「サンハックサットレイクメイ小学校」の生徒選抜チームが参加した。



3位になった教育里子支援校の生徒たち

「ワールドフット」では毎年、サッカー大会をプノンペン市内で開催していたがコロナ禍で中断、今回3年ぶりの開催だった。

「サンハックサットレイクメイ小学校」の生徒選抜チームは、10チーム参加のうち3位の好成績に輝いた。

「国際ソロプチミスト安城」が遊具を寄贈

9月10日、「ソムブル小学校」(コンボンスプー県、生徒数350人)に併設された幼稚園に、遊具(滑り台)を1台設置した。「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市)様の寄贈によるもの。

園児達はさっそく、初すべりを楽しんでた。



遊具で遊ぶ幼稚園児

コウモリの大集団

これはポルト政権崩壊後、1990年代まで「クメール・ルージュ」の拠点だったが、幹部が次々と投降したため、今は普通の街になった。山ではルビーなどの宝石を採掘するツアーも行われていて、観光の街として脚光を浴びている。



パイリン

カンボジア西部のタイとの国境付近に位置する、宝石の街「パイリン」を訪れた。この

パイリンを訪問

カンボジアの雨季は5月〜10月、雨季も終わり頃になると各地で集中豪雨が発生、たちまち洪水になる。



洪水

洪水が発生

カンボジアの雨季は5月〜10月、雨季も終わり頃になると各地で集中豪雨が発生、たちまち洪水になる。

11月7日〜9日の「水祭り」の頃には雨季も終わり、さわやかな日々が続く。

日本では何となく、蛇口をひねればきれいな水が出るが、カンボジアの田舎に行くところはいかない。水道がないので、水源は池、雨水など。水瓶に貯めた衛生的とはいえない水を、生活に使用している。水道が普及するまで、まだ時間がかかりそうだ。



水瓶

地方に行くとかならず目にする水瓶

残す唯一のリゾート海岸が「ケップ」(カンポット県)であろう。機会あり一泊で訪問してみたが、あいにくの雨季で海岸は寂しかった。それでもカニ、イカ、エビ、さかななどの海産物をビーチのレストランで堪能した。

高級感あるホテルからは海が見えて、リゾート感たっぷりだった。



ケップ

カンボジア第二のリゾート「ケップ」

カンボジアのリゾート海岸と言えば「シアヌークビル」が有名だが、そこは今、中国人街になってしまった。

カンボジアの雰囲気を楽しんだ。料金は6ドル(800円)。

「ジーゼル車を試乗」
コロナの時はレールを走るジーゼル車が運休していたが、ようやく復活したようだ。プノンペン駅からタケオ駅を経由し、ケップ(カンポット県)行きのジーゼル車が毎日運行しているとの情報を得たので、と

りあえずタケオ駅(プノンペンから約2時間)まで試乗した。速度は50キロ程度、のんびりとした雰囲気の中、カンボジアの田園風景を楽しんだ。料金は6ドル(800円)。



ジーゼル車

ウオッチ

カンボジア

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってもらいます。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・通学用かばん	3,000円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります

里子への教育支援金を 隔月に届けています



教育支援金を届けてきました

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(25校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けている。中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。9月14日～9月23日の間に8月分と9月分を、2人の現地スタッフが各学校を回り、教育支援金と里親さんからのプレゼントを届けた。カンボジアの公立学校(小・中・高)は、12月1日から長い休み期間に入る予定。

暇 来年1月から新学期が始まること。なお、私立の学校や大学については、10月から新学期がスタートした。9月14日、里子支援金を配布する車に乗った三林けい子さん(新潟県在住の里親会員)が、三林さんが主宰する「チームどらエモン」(3人の里子支援中)の日本にいるメンバーと現地にいる里子が、オンラインで交流した。現地に行かなくてもオンラインで交流できる、素晴らしい時代になった。現地訪問が難しい中、オンライン里子訪問を希望される方は事務局に連絡を。☎03-3991-2854



オンライン里子訪問

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在280人の子どもたちを教育支援している。今年1月に新学期を迎えた子どもたちは、コロナ禍による休校もなく学習に励んでいる。カンボジア政府教育省の発表では、公立学校については11月末日まで授業を行い、12月中は長期休暇による休校もなく学習に励んでいる。

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 M君の思い出(6)

今 紀子(東京都在住 会員)

「行くだけボランティア」を標榜しながら二十年も根岸さんの後ろにくっついて行く魅力は、何と言っても根岸さんの「誠実」さである。裏も表もない飾らないお人柄。子供たちと真摯に向き合う「真剣」さ。

お金もない、何も無い、でも応援団なら出来る。そういう気持ちでお世話になって来た。私は何もできないけれど、友人たちが里親になってくれたり、井戸を寄贈してくれたり、活躍して下さっている。良き友よ、ありがとう。

根岸氏ひきいるボランティアグループは、物作り教室などを通して、子供たちの自立にも貢献している。

別れ際、M君は私にシルクのクロマーをプレゼントしてくれた。そのクロマーは、今でも大事に使っている。私は「G神父に渡してください」と、封筒を差し出した。ホンの数枚のお札を、M君に怒られたらどうしようと思いながら手渡した。そうして私たちは、お互いの健闘を約束して別れたのだった。

それから数年経って、見知らぬ男性から電話があった。大阪支局に勤務している新聞記者からだった。彼がカンボジアに行った時、日本語を話すカンボジア青年に出会った。その青年は、難民で日本に行った時、「コン先生」という人から日本語を学んだと話したと言う。

私はどのようにして、私を「特定」したのか尋ねてみた。コンピューターにキーワードを入力したら、まず「二十一世紀のカンボジアを支援する会」が表示されたそうである。

その時、これからは新しい時代が始まるのだという予感がした。(続く)

投稿 カンボジアの牛とそれにまつわる不思議(2)

～カンボジア産牛肉の怪～ 佐々木 英介(東京都在住 里親会員)

カンボジアは2018年から昨年まで、日本産牛肉の輸入量世界一であったことをご存知でしょうか。確かにプノンペンの市内には焼肉店がいくつかあるものの、それだけの量を消費するような気配は見当たりませんし、そもそも流通しているものは、主にオーストラリアやニュージーランドや国産の牛肉だということです。

実は、カンボジアは中国向け日本産牛肉の闇ルート拠点になっており、この国でカンボジア産にラベルを貼り替えた後ほとんどが、中国へ再輸出されているようなのです。

日本で狂牛病が発生した2001年以降、中国政府は日本産牛肉の輸入禁止措置をとっていますが、その頃中国の高度経済成長と共に日本へ大挙訪れた観光客たちが、帰国後もサシの入った和牛の味が忘れられずにそれを求め続けた結果、その需要に応じるべくこのような不可解な闇ルートが、形成されていたという次第です。しかも、その闇ルートの片棒を担いでいたのが、何と全日空なのです。

2016年にカンボジアへのANA直行便が開設された際には、私たちは諸手を挙げて喜んだものですが、その裏にこのような魂胆があったなどとは、気づきもしませんでした。

その後、新型コロナウイルスのパンデミックによって、2020年3月からANA直行便が休止となり日本産牛肉の空輸ができなくなってからは、シンガポールやタイが新たな闇ルートとして利用されているようです。

中国政府による禁止措置は、一度「2020年より月齢30ヶ月未満の牛肉に限って解禁する」と発表はあったものの、その後起きた外交問題の影響を受けて断ち切れとなり、いまだ再開の目処は立っていません。(次号に続く)



投稿 昔ながらの天日干しで塩を生産

中村 善信(プノンペン在住、喫茶店経営)



塩田

カンボジア南部のケップ州とカンボット州の海側には、広大な塩田が広がっています。

海水を塩田に引き入れ、自然の太陽光で蒸発させ、昔ながらの天日製法で塩が作られています。身体に良く、ミネラル成分豊富な塩が生産されています。

塩田の結晶の塩を舐めると、しょっぱく感じる以外に苦味や甘味も感じられる、これはカラダに良いはずですね。カリウム、マグネシウム、カルシウム、といった様々なミネラルが豊富に含まれている、との事です。

『大量生産されている「精製塩」は塩化ナトリウムの90%以上のモノで、これを毎日摂取していれば体内のミネラルバランスが崩れ血圧が上昇し、高血圧の原因になる』とのこと。つまり天然塩を接種すれば、塩で高血圧を防ぐことが出来ますね。

塩の生産は毎年1月から4月までです。この期間にカンボジアにこられたら、ぜひともケップ・カンボット州の塩田に行かれて下さい。

尚、豊富な写真と情報をお求めの方は、私の過去ブログをご覧になって下さい。ヤフーとかグーグルを使われて「なかやんのプノンペン滞在記」で検索して下さい。2019年11月17日と2020年2月11日に投稿しています。

春さんのカンボジアレポート

～ポルポト派特別法廷が終了～

2006年から16年間に及んだポルポト派特別法廷が、9月22日に終了しました。ポル・ポト政権(クメール・ルージュ=カンボジア共産党)は1975年から1979年にかけて、自国民を大量殺戮、拷問、暴力、迫害、強制結婚、強制労働、強制失踪のジェノサイドを行い、推定150万人から200万人を死亡させました。

当時の人口の20%で、20世紀のどの政権よりも最悪です。最高指導者ポルポトは1998年に死亡しています。起訴された5人の被告・元最高幹部は高齢で、4人は公判中に死去しました。最後に残った被告キュー・サンファン(元国家幹部会議長)が最高刑・終身刑と確定し、裁判は終了しました。

この法廷はカンボジア政府と国連が共同運営する特別法廷で、カンボジア人17人と、国連が推薦した日本など10カ国の13人が、法廷の司法官に就任していました。日本は、国際支援の約30%にあたる約8,867万ドル≒75億円(国際側に7,218万ドル、国内側に1,649万ドル)を提供し、裁判に主導的な役割を果たしてきました。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)



ポルポト派裁判が終了 写真出典 Kmer Times, カンボジア情報省

本会の会員状況をお知らせいたします

(2022年9月末日現在)

●教育里親会員	202名
●個人会員	75名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(随時)	61名
合計	348名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしく願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

8月15日、ニッポン放送のラジオ番組「阿部亮のNGO世界一周」に根岸理事長が出演、収録しましたが約2カ月後の10月10日に全国放送されました。ニッポン放送から音源データを頂きましたので、ご希望の方はメールでお知らせください。

学校建設などお世話になっている、カンボジアの会社「KHJグループ」では、日本人スタッフを募集しているそうです。カンボジア語がなくても採用可能とのことですので、関心ある方は本会に連絡をお願いいたします。(仲介します)

個人的なことですが、この程根岸理事長がエッセー「語り継ぎたい昭和の歴史」第2集(85頁)を昨年に続いて発行いたしました。本をご希望の方には、送料のみ負担(200円分の切手)で郵送することです。

コロナも落ち着ききてきて、カンボジア訪問を希望する方が増えてきました。入国規制も殆どなくなりましたが当面は個人旅行として自己責任での渡航をお願いいたします。来年3月中旬〜4月中旬にかけて約1カ月間、根岸理事長が現地滞在中です。日程が確定しましたら、会報でお知らせいたします。

本会の活動に参加しませんか?

正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)
- ※活動のための諸費用含む。
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方から5000円以上の寄付金も受付しております。

* * * * *

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】
21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】
019支店 当座 0160916

【りそな銀行】
練馬支店 普通 40008235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。



子どもたちの笑顔

写真提供: 遠藤啓様



好評につきカンボジアの「子どもたちの笑顔」を連載いたします。5月〜6月に遠藤啓さんがカンボジアを訪問、子どもたちの写真をたくさん撮りました。



「トロペアントレアン小学校」校舎の建設着工式が行われる

10月21日、本会が仲介し、「札幌ポブラライオンズクラブ」(事務局=札幌市中央区・石黒義久会長)が建設資金を提供する「トロペアントレアン小学校」(クラチェ県・チェットボレイ郡・チョントロココミュニティ・トロペアントレアン村)校舎の建設着工式が行われ、地域の行政、教育関係者や本会の現地スタッフらが出席した。

校舎は3教室でレンガブロック造り、現在ある旧校舎の近くの敷地に建てられる。建設工事は校舎建設に実績がある「KHJグループ」が担当、工事の進捗状況を逐次写真報告してもらう。

校舎は来年3月に完成する予定。贈呈式には日本から「札幌ライオンズクラブ」の皆さんを始め、本会会員らが出席している。



建設工事着工式

カンボジアミニミニNEWS

1月〜8月で人身売買被害の外国人約900人を救出

内務省が公表した声明によると、1月〜8月に人身売買被害にあった外国人890人を救出した。被害者の証言によると、被害者らはソーシャルメディアを通じて「カンボジアでまともな雇用を約束する」と騙されて不法入国したが、連れて行かれた就職先は違法オンラインギャンブルであり、虐待を受けて人身売買されたという。当局はこの介入で容疑者83人を拘束した。



オンライン情報交換会を毎月開催



本会では、カンボジア在住の日本人や現地スタッフの協力のもと、現地情報をオンライン(ZOOM)で紹介する「カンボジア情報交換会」を、原則毎月第1又は第2土曜日の10時〜11時半に開催しています。9月は10日、10月は8日に開催しました。

12月は10日(土)、来年1月は14日(土)の午前10時〜11時半に開催予定ですので、皆様是非ご参加ください。入室・退出は自由ですので、都合良い時間帯にご参加ください。

参加を希望する方は事務局までご連絡ください。事務局から事前に招待メール(IDとパスワード)をお知らせいたします。

スマホやパソコンをお持ちの方なら、どなたでも参加可能です。

カンボジア国立銀行によると、カンボジアの6月のインフレ率は7.85%に上昇、過去10年間で最高となった。リエルは下落して1ドル当たり4091リエルとなり、国際貿易赤字は約9800万ドル縮小した。インフレ上昇の原因は、原油価格の高騰が輸送コストの上昇を招いた結果である。

6月のインフレ率は約8%、リエル安に

「ワールド・ビジョン・カンボジア」が発表した調査報告書によると、カンボジアの高齢者の3人に1人が親の代わりに孫や他の親戚の子どもの世話をしており、こうした責任は高齢者に大きな負担とストレスを強いているという。

高齢者の3人に1人が親に代わり孫の世話

カンボジアでは1月〜9月で約8000人のデング熱感染者が確認され、昨年同期と比較して3倍に増加した。14人が死亡、その大半が2歳以下の子どもだった。雨季で降水量が増えたことや、新型コロナウイルスに注意する一方で、デング熱については散漫になっていることが、増加の原因とされている。

デング熱感染者、3倍に急増

カンボジアでは雨季の洪水が原因でへびに噛まれる被害が多発、1月〜9月で395人に達している。被害の大半は「アオダイショウ」や「ウミヘビ」といった無害なへびによる被害だったが、中にはコブラなどの毒蛇に噛まれた人もいたという。幸いなことに死亡者は確認されていない。

9ヶ月間で395人がへびに噛まれる

教育里親会員 入会申込書

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
住所	(TEL)				
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男子 ② 女子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]				

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。